

## ペプシノゲン検査

ペプシノゲン検査は、胃粘膜の萎縮状態を血液で調べる検査です。ペプシノゲンとは、胃から分泌される蛋白質分解酵素で、ピロリ菌の感染とそれに伴う胃粘膜の萎縮によって分泌が低下し、血液中の値も低下します。ペプシノゲンにはIとII二つの型があり、萎縮性胃炎の場合Iの低下がより顕著となります。そこでペプシノゲン単体だけでなくI/II比の低下が萎縮の進行度を表す指標となります。

胃切除後の方、胃、食道、十二指腸、腎臓の病気で治療中の方は正しい結果が得られない可能性があります。主治医にご相談ください。